

## 深谷通信所跡地利用アイデアコンペの実施状況について

## 1 目的

返還後の跡地利用について、創造的で特出した提案を広く求める。  
開港 150 周年を記念した取組により返還と跡地利用の社会的関心を高める。

## 2 現在までの状況

## (1) 経過

- 4月15日 実行委員会がアイデアコンペ開始  
6月22日 事前登録締切：登録 802 件（一般部門 407 件、専門部門 395 件）  
8月24日 作品受付締切：受付 353 件（一般部門 199 件、専門部門 154 件）  
全 353 件のうち泉区・戸塚区から 90 件、国外からは 9 件の応募  
10月20日 第一次審査：選考 63 件（一般部門 30 件、専門部門 33 件）

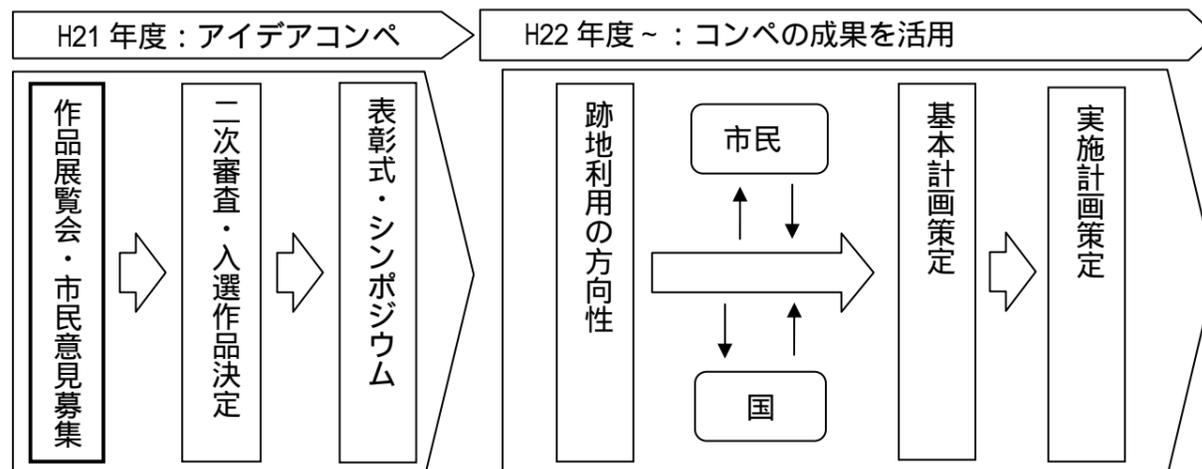
## (2) 第1次審査通過作品に盛り込まれた提案の概要

社会的要請への対応に係る主な提案	・緑地、里山、湿地、風の道の創出など地球温暖化対策 ・避難、備蓄、貯水、通信、医療など広域防災対策 ・ビオトープ、沢や樹林地の復元など自然環境保全
地域への貢献に係る主な提案	・食育、地産地消、農業体験、市民菜園など都市農業振興 ・野球、ゲートボール、サッカーなどスポーツ利用 ・原っぱ、散歩道、四季の花など憩いと交流の場づくり

## (3) 作品展覧会と市民意見募集の実施

市民の意見を第二次審査（12月予定）に届けるため、現在、第一次審査を通過した 63 作品について、作品展覧会と市民意見の募集を行っています。

## 3 今後の進め方



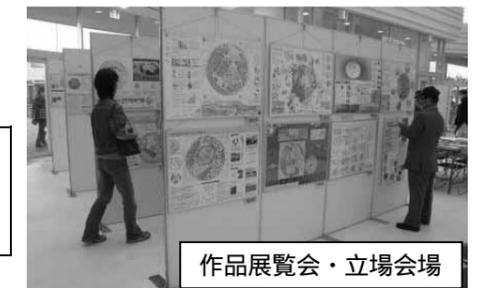
## 参考

## 【募集の内容】

応募資格	国籍、年齢、資格は不問、個人又はグループでの応募	
使用言語	日本語又は英語	
応募区分	A 一般部門	B 専門部門
提案の視点	(1) 社会的要請への対応 (2) 地域への貢献	左記の(1),(2)に加え、 (3) 施設整備・維持管理の実現性・効率性
提出物	A 3判パネル2枚以内	A 1判パネル1枚
賞および賞金	入賞10点（賞金各3万円）	優秀賞 3点（賞金各50万円） 佳作 5点（賞金各10万円）
審査委員 (敬称略・50音順)	委員長 小林 重敬 委員 内海 宏 倉田 直道 齋藤 潮 近澤 弘明 蓑茂 壽太郎 山崎 洋子	東京都市大学教授、横浜国立大学特任教授 横浜プランナーズネットワーク 工学院大学教授 東京工業大学大学院教授 横浜まちづくり倶楽部副会長 熊本県立大学理事長 作家

## 【作品展覧会と市民意見募集の期間・開催場所】

11月 4日～11月 9日	イトーヨーカ堂立売場
11月16日～11月22日	みなとみらいギャラリー
11月 4日～11月22日	インターネット



## 【実行委員会の構成団体】

まちづくり	社団法人 日本都市計画学会
	特定非営利法人 日本都市計画家協会
環境	社団法人 日本公園緑地協会
	財団法人 横浜市緑の協会
経済	横浜商工会議所
	社団法人 横浜青年会議所
地域	泉区連合自治会町内会会長会
	戸塚区連合町内会自治会連絡会
行政	神奈川県、横浜市

## 【深谷通信所】面積約 77ha、全域国有地

